

# たのの



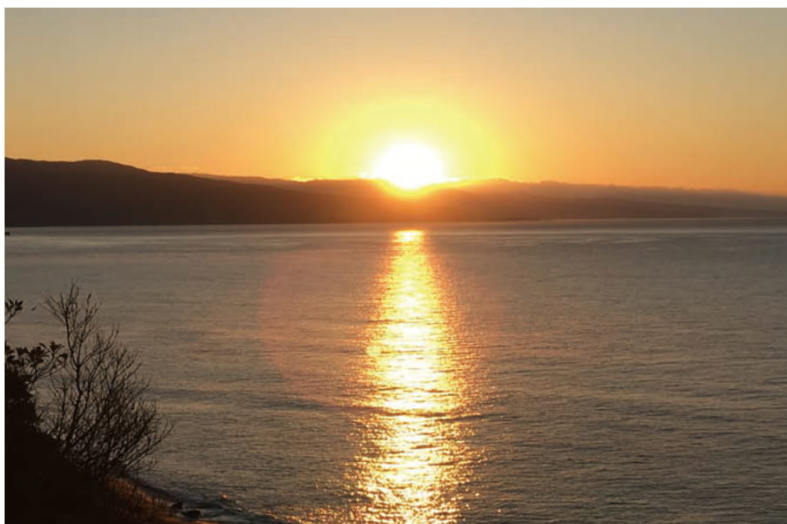
TANO HOSPITAL

田野病院

〒781-6410 高知県安芸郡田野町 1414-1  
TEL 0887-38-7111(代) FAX 0887-38-5568

発行人 白井 隆  
(題字 安岡 寧水)

TANO HOSPITAL ホームページ <http://www.usui-kai.com/> E-Mail:info@usui-kai.com



新年の幕開け  
(高知県安芸市矢流から望む初日の出)

## CONTENTS ページ

■ 理事長コラム	1
■ 新年のご挨拶	2
■ 研修医の先生にインタビュー	4
■ 田野町と包括連携協定を締結	5
■ 入退院支援事業フォローアップ研修	5
■ お薬のはなし	5
■ 中芸退院支援合同事例検討会	6
■ 令和元年四国ブロック DMAT 実動訓練に参加して	6
■ 院内コーチング研修を実施しました	7
■ おらんくの病院	7
■ リレーエッセイ	7
■ 田野町クリーンウォーク&スポーツ交流会 2019	8
■ たのたの温泉だより	8
■ 令和元年度 医療法人白井会 大忘年会	9
■ 黒豆と抹茶のカップケーキ	10
■ たのしい保育園	10
■ 新人紹介	10
■ 編集後記	10

## 2020 謹賀新年

理事長 白井 隆



令和初の新年おめでとうござ  
います。干支は最初に戻って子  
年です。

昨年は元号が平成から令和に  
変わり、消費税が10%に上が  
り、全国各地で災害が発生しま  
した。大変な激動の1年だった  
とも言えます。令和2年は穏や  
かな1年であって欲しいと願っ  
ています。

医療分野では、診療報酬改定  
が控えています。医師の働き方  
改革を進めるに当たっては、ま  
だまだ議論が必要です。多くの  
病院が、救急医療や病院間の連  
携に大きな悪影響を与えると心  
配しています。

オリンピックは私の誕生日の  
前日に開幕ですが、パラリン  
ピックともども明るい話題であ  
り日本中が盛り上がり、大いに  
沸いて欲しいと願っています。

田野病院は地域医療構想の不  
足分として19床の増床許可を昨  
年末にいただきました。これか  
ら具体的な設計に入るわけですが、増床、増改築になるので、  
時間もコストも負担は大きく、  
それなりに大変だろうと思って

います。

そもそもこの19床は、室戸病  
院が閉院になったことから発生  
しています。残念な思いも強い  
のですが、時代の流れかなと思  
いますし、同時に懐かしく昔を  
思い出します。

高知医大が始まり、大学病院  
が始まり、私は既に高知で勤務  
していたので大学病院が始まる  
と同時に籍を移しました。徐々  
に医局員も増え、室戸中央病院  
の開院に初代院長として第1外  
科医局から後輩が出身しまし  
た。緊急手術などの応援にも大  
学から行きました。その後、室  
戸病院が開院し、室戸病院にも  
第1外科医局から医局員が派遣  
されました。田野病院は昭和61  
年4月に開院しましたが、その  
頃を思うと、東部の医療に関  
わってくれた外科医は減ってし  
まいました。元に戻ることはな  
いので、変化する今の時代に合  
わせた地域医療に邁進したいと  
考えています。

皆様にとって令和2年が有意  
義な1年であることを祈念しま  
す。



## 新年雑感

副院長兼小児科部長 島崎 洋成



新年 あけましておめでとうございます。2020年子年です。2020年と区切りがよく、また、子年は干支の始めなので一からという気持ち、初心回帰！ ということで今年は頑張っていきたいと思います。また、年々体力の低下を感じているこの頃ですので、体を動かすことと、健忘の多くなった頭にも刺激をしてチャレンジ精神を沸騰させようと思っています。

今年は東京オリンピックで夏休みを利用して見に行かれる方もいると思います。年代によっては2回目の東京オリンピックを体験されることでしょうか。ちょうど56年前。当時の平均寿命は男性65歳くらい女性70歳くらいでしたので現在はそれから16～17歳くらい伸びています。時代の衛生面、医療面、経済面などの進歩が関与していると思いますが、衛生面では当時の東京はゴミ都市と呼ばれていたようですが、オリンピック開催を契機にゴミ収集などして国際的にもクリーンな印象をアピールしています。今回もオリンピックを契機に禁煙などの政策が進むことで環境面、健康面の進歩がみられます。田野病院も環境、時代の変化に伴い心機一転の年になるのでしょうか？（笑）

今年もよろしくお祈りします。 なにより皆さまの健康を年頭祈願して！

## 新年のご挨拶

事務長 吉松 誠爾



新年明けましておめでとうございます。「令和」となって初めて迎える年頭にあたり、新年のご挨拶を申し上げます。

1年を振り返ってみますと、昨年も発生した台風被害のニュースが頭に浮かんできます。ニュース番組でも被災された病院や介護施設の映像が頻繁に放送されていました。最近では「数十年に一度の異常気象」という表現を毎年のように聞いている気がしますが、そのような中、国内外で人道支援活動をされている特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン様との災害支援協定を締結させていただきました。南海トラフ地震はもとより台風被害の多い地域としては大変心強い支援協定であり、今後も協力して対策強化に努めてまいります。

次に思い浮かんだのは、ラグビーワールドカップ2019の日本代表の大活躍です。何もかも忘れて家族みんなで声をあげて応援し、感動し、元気をもらいました。昨年は、テニスの大阪なおみ選手やゴルフの渋野日向子選手も躍動しました。東京オリンピックも今から大変楽しみです。

今年も多く活力や刺激をいただきながら、初心を忘れず、地域に貢献できるよう日々努力を重ねてまいります。職員への温かいご支援、ご協力をいただけますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆さまが健康で幸せな1年を過ごされますよう心よりご祈念申し上げます。



「臨機応変」「当意即妙」な対応ができる部署を目指して、一つ一つの業務に取り組みます。



経営企画部長 兼  
総務課長  
安岡 将一

今年の干支は庚子（かのえね）で新しいものが生まれる年。看護部も新しい変化の種が芽吹く一年にしたいです。



副看護部長  
岡林 純賀子

郡東部の病院として地域の皆様に喜んで頂けるよう役割を果たすべく頑張ります。



看護部長  
乾 留理子



西病棟／師長  
岡本 直樹

地域の皆様に、安心で安全な医療を提供し、チーム一丸となって在宅復帰を支援いたします。



回復期リハビリテーション病棟／師長  
平井 三栄子

「自宅へ帰りたい。」その思いを叶えられるよう、変化した体の動きに対応できる支援を多職種が連携して実践していきます。



外來中材手術部／師長  
西岡 美幸

地域の皆さんに満足して頂けるように、質の高い医療・看護を目指し、日々自己研鑽に努めます。



薬剤部／部長  
公文 桂

退院後に在宅での服薬管理が容易になるよう患者様個々のニーズに合わせ、服薬回数や剤型の変更等医師に提案していきたく思います。



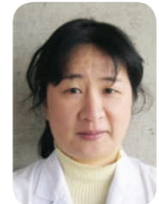
リハビリテーション部／部長  
細田 隆之

1人でも多くの方が笑顔になれるようスタッフ一同、優しく・明るく・元気よく頑張っていきます。今年もよろしくお願ひします。



臨床検査部／主任  
水原 世起

迅速で正確な業務はもちろんのこと、安心して検査を受けて頂けるよう、分かりやすい説明と笑顔で対応していきます。



栄養部／主任  
鈴木 道代

今年もより一層おいしく元気になる食事を提供していきます。



放射線部／主任  
中石 宇俊

装置の更新がされ検査時間の短縮や画像の質が向上しました。患者様の負担を減らし、安心して検査を受けて頂けるよう頑張っていきます。



経営企画部／課長  
佐古 拓斗

体制が一部変更になりましたが、今までのように変わらず、患者サービスが提供できるように努力いたします。



医療相談室／主任  
今井 恵美

各々のペースで支援の質を高め、地域との繋がりをより強固に！



居宅介護支援事業所の／所長  
松本 真由美

本年も更に各関係機関との連携を密にして利用者さまの在宅生活が少しでも安心してできるものとなるよう、前進・向上して参りたいと思います。



訪問看護ステーションの／所長  
大久保 広美

利用者の皆様、ご家族の方が、安心して過ごしていただけるよう、明るい笑顔で努めていきます。



デイサービス・ショートステイの／所長  
松岡 和彦

本年も、皆様の笑顔が見られますよう、努めて参りたいと思います。



通所リハビリテーションの／副主任  
小山 栄治

病気を患って、これからの生活に不安を感じられている方の助けになれるようスタッフ一同努めたいと思います。



訪問リハビリテーションの／理学療法士  
池内 昭友

地域の皆さんが在宅で健康な生活が送れるように支援していきますので、宜しくお願ひします。



ホームヘルプステーションの／サービス提供責任者  
山本 裕子

一人一人の在宅生活スタイルを大切に、安心して暮らしていただけるようサポートしていきます。



たのたの温泉／支配人  
牛窓 靖

昨年は多くの方にご利用いただき、新年を迎えることができました。本年も地域の憩いの場を提供できるよう心掛けたいと思います。



## 令和元年度 地域医療研修

当法人にて、地域医療研修に取り組まれた研修医の先生方をご紹介します。

- ①研修中、一番印象に残ったことがあれば教えてください。
- ②医療法人白井会(田野病院)のイメージを教えてください。
- ③指導医、職員の印象を教えてください。
- ④将来“こんなDrになりたい!!”というDr像があれば教えてください。



あいかわ りょう  
**及川 亮 医師**  
(国立国際医療研究センター)

研修期間  
令和元年8月26日～9月19日

出身地：東京都  
出身大学：筑波大学 医学群医学類  
専攻：肝胆膵外科 趣味：映画鑑賞



- ①訪問医療対象地域の広さ。
- ②様々な事業で地域を支える、不可欠な存在。
- ③非常に、温かく迎え入れて下さいました。職種ごとの垣根が低い職場だと思いました。
- ④前へ進み続ける医師。



うおもと まり  
**魚本 真理 医師**  
(国立国際医療研究センター)

研修期間  
令和元年10月7日～10月30日

出身地：東京都 出身大学：横浜市立大学医学部  
専攻：産婦人科 趣味：ランニング、テニス、カラオケ、  
温泉、美味しいものを食べる



- ①スタッフの方々のおもてなしの心。
- ②安芸地区の方々に心から信頼されている病院。
- ③熱心、温かい、職員間の距離が近い。
- ④多職種で密に連携して患者さんをケアできる医師。



ながさわ たかあき  
**長澤 隆暁 医師**  
(細木病院)

研修期間  
令和元年11月5日～11月29日

出身地：高知県 出身大学：高知大学医学部  
専攻：精神科(心療内科系) 趣味：料理(ここ1年ほど)  
得意料理は麻婆豆腐、ハンバーグ、ガーリックシュリンプ等



- ①指導医からの救急搬送の話で、中央の3次救急に搬送しなければいけない症例か否かは、地域の2次救急と中央の2次救急では判断の重要性が異なるという話が印象的でした。
- ②単に県東部にあるというだけでなく、東部の他の病院や中央の病院に対して無くてはならない病院だと感じました。
- ③全体的にスタッフ間の垣根が低く、柔軟に協力することが多いように思いました。
- ④必ずしも医療資源に恵まれた立地や条件で働けるわけではなく、むしろそうでないところで働く必要性は十分にあると思います。そのときに、自分たちで受け入れることが困難な症例に対しては適切にパスを出し、そうでない症例に対してはしっかりと診ていける医師になりたいと思います。



ふじた しょうへい  
**藤田 昇平 医師**  
(高知医療センター)

研修期間  
令和元年12月2日～12月27日

出身地：高知県 出身大学：高知大学医学部  
専攻：脳神経外科 趣味：筋トレ、ラグビー、犬の散歩



- ①地域では発症後に障害が残ったまま、独居や老老介護で生活されている患者さんが多く、交通手段が少なく、病院受診や買い物ですら一苦勞である。昔ながらの家屋も多く、段差の多さや冬場の冷えがある。
- ②医療資源(医療スタッフを含む)が少ないなかでも可能な限りの地域医療を行っている。一人ひとりの医療スタッフの役割が多い。リハビリスタッフが多く、多くの患者さんがリハビリによって機能回復が進んでいる。訪問サービスや通所リハビリ、デイサービスなど退院後の患者さんのサポートも積極的に行っている。
- ③熱心な先生やスタッフが多く、診察やリハビリなどのさまざまなことを指導いただいた。また、医療スタッフ向けのミニレクチャーなどもさせていただき、教える際に自分自身の知識の定着や発表スキルなども勉強させていただいた。忙しい診療や業務の中でも親切に指導いただき、急性期では経験できないような訪問の経験やリハビリの経験などを多くさせていただいた。
- ④あらためて病気だけでなく、患者さんの今後の生活やサポートも含めて考えられる医師になりたいと思った。

## 田野町と

### 包括連携協定を締結

経営企画部長兼総務課長 安岡 将一

2019年12月19日、当法人会議室にて、田野町との包括連携協定を締結致しました。協定は双方の有する知的・人的資源を活用しながら、医療体制の充実や子育て支援など、複数の分野において連携して取り組むことにより、地域にある諸課題の解決と地域振興を図ることを目的に締結されました。

今後はこれまでより連携を深めていくことでお互いの強みを活かし、弱みを補いながら、災害対応や子育て支援、医療従事者の確保等の地域課題に対して、協議しながら具体的な取り組みを進めて参りたいと考えます。



## 入退院支援コーディネーターフォローアップ研修

リハビリテーション部 作業療法士 副主任 森本 一洋

12月12日、入退院支援コーディネーターフォローアップ研修に、当法人より入退院支援コーディネーター5名が参加しました。

今回の研修では、現在当法人が取り組んでいる入退院支援事業について、取り組みから二年を経たの回復期病棟の変化について発表を行いました。



またグループディスカッションでは、入退院支援コーディネーターは各職種が担うポジションがそれぞれあり、職種によって動き方、取り組み方に違いがあることを知りました。患者さんを取り巻く環境は病院・自宅だけでなく、地域を考慮して関わって行く必要があり、入退院支援コーディネーターとして様々な職種を繋ぐ役割があると再認識した研修でした。



## お薬のはなし

### 抗インフルエンザウイルス薬について

薬剤部 主任 斉藤 忠男

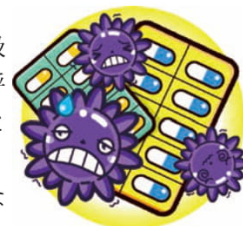
毎年、人の移動が増える年末年始を境に、急激にインフルエンザで受診される方が増えます。今シーズン、高知県東部では夏場からインフルエンザに罹る方が発生し、全国的な流行期も少し前倒しになっています。

昨年まで一般的に使われてきた抗インフルエンザウイルス薬としてタミフル・ゾフルーザ（内服薬）、リレンザ・イナビル（吸入薬）、ラピアクタ（点滴）があります。それぞれの薬に特徴があり、使用する人によって適切な薬が選択されます。

今までの抗インフルエンザ薬ではカプセルが大きくて飲めない、粉薬は嫌がって飲んでくれない、吸入薬をうまく吸えないなど薬の投与に失敗することもありましたが、今シーズンは新しい投与方法の薬が発売され、より効果的な治療につながることを期待されています。

「イナビル吸入懸濁用 160mgキット」というその薬は、以前から使用されていた吸入薬のイナビルと同じ成分ですが、ネプライザという装置を使用して、より自然な呼吸の中で薬を吸入出来るため、吸入力が弱い小児や高齢者の方にも使える吸入薬となっています。

投与には少し時間がかかりますが、以前に内服や吸入による治療が上手く出来なかった方は、受診の際に医師や薬剤師にご相談ください。





9月25日、当院会議室で中芸退院支援合同事例検討会が行われました。検討会では中芸広域連合の廣末センター長の進行の元、高知県立大学からアドバイザーとして小原先生、源田先生にも参加していただき、当院と他施設の様々な専門職約40人で活発な意見交換が行われました。

## 中芸退院支援 合同事例検討会

副看護部長 岡林 純賀子



当院を退院した患者様が、地域に帰るとどのような職種と協働で支援が継続されるのか、その職種間でどのような情報を共有していくのか、歯科衛生士や調剤薬局の薬剤師からも貴重なアドバイスを頂くことが出来ました。

日頃は重症な患者様への退院支援が優先されがちですが、再入院を防ぐ為には、自立して退院する患者様にも予防的観点から看護を継続していくことが重要であると反省させられた時間でした。今後も地域包括ケアの充実を目指す、定期的に事例検討会を行う予定です。皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

## 四国ブロック DMAT 実動訓練に参加して

リハビリテーション部 理学療法士 濱渦 由佳

もし今、地震が起きたとしたら私には一体何ができるだろう。私が災害派遣医療チーム（通称 DMAT）の勉強を始めた理由は、何らかの災害が起きた際に落ち着いて行動できるように知識を得たいと思ったことがきっかけです。

今回、愛媛県で開催されました四国4県合同の実動訓練に参加させて頂きました。当院からは2隊（8名）で参加し、発災場所への助援に向かいました。患者搬送や現場救護所支援など派遣依頼をされる場所によって求められる活動内容は異なりますが、先輩 DMAT の方々に丁寧且つ分かりやすく助言を頂きながら、自分なりの活動に努めることができました。夜は日付が変わるまで語りつくし、仲間の大切さ温かさを再確認できました。

私は、災害医療の知識をもったスタッフが増えることが病院や地域の方々の安心に繋がるとは思っています。その希望を持ちつつ、今後とも活動に励んでいきたいと思っています。



打ち合わせ中



派遣指示待ちで待機中



被災現場 MAP 作成隊



現場情報の収集隊

## 院内コーチング研修を 実施しました

9月26日に管理職・リーダー職を対象とした院内コーチング研修を開催しました。コーチングとは、「相手の可能性を最大限に引き出し、自ら行動する自発性を促進しながら、目標達成をサポートするコミュニケーション技法」のことです。

講師には、職場の人事労務問題の解決やコーチング研修等において、高知県内外問わず大変定評があり、社労士としても活躍されている、コーチ社労士事務所 代表 池澤 まゆみ先生をお招きし、約2時間ご講義いただきました。

2時間という短い時間ではありましたが、池澤先生からはコーチングの必要性や、実務で活用できるコミュニケーションテクニックなど、沢山学ぶことができました。今回の研修受講がゴールではなく、業務改善、人材育成、コミュニケーション力の向上といった課題を解決していく為に、学び得たことを日々実践していき、組織全体の成果につなげていきたいと思えます。



臨床検査部 臨床検査技師 宮崎 千明

### おらんくの病院



私は神奈川県相模原市出身です。

相模原市は都心へのアクセスが良くお店には困りませんが、都会はお金がないとなにもできません(^.^)。あとは、高校野球が強い東海大相模高校があります。

高知に来て思ったことは、美味しいご飯やさんが多いこと・野菜が新鮮で安いこと・温かい人が多いと感じました。特に地域性の強い田野病院の患者様からは、人のやさしさを感じる事が多く、日々の活力をもらっています。

高知には良いところがたくさんあり、この間は楽天トラベルの人気急上昇国内旅行ランキングで第4位になっているのを見ました。そのような場所で働けることに感謝しながら、臨床検査技師として皆様の健康を少しでもサポートできるよう頑張っていきたいと思えます。



### リレーエッセイ

#### 同窓会に参加して

経営企画部総務課 主任 岩崎 宏紀

私事ですが、年明け早々「同窓会」に参加してきました。集まったのは、1980年(昭和55年)生まれの田野町出身の同級生。

私自身、高校を卒業して以降、地元である田野町を離れていたこともあり、当時の同級生とは随分と疎遠になっていましたが、今回同窓会の誘いを受け、「ずっと会っていなかった仲間と会ってみたい」と思う気持ちから、二つ返事で参加を決めました。

その日は旧知の懐かしい面々と再会を果たすことができ、当時の思い出話や各々の近況を聞くことで、沢山の刺激をもらいました。久しぶりすぎて(長く会っていない人で30年以上)照れや緊張もありましたが、幼少期を共に過ごした仲間といふ大人になって交わすお酒は感慨深く、何ものにも代え難い素敵なひとときでした。

これまでの私は、旧友と交流する機会や誘いがあっても、どこか一歩引いたところがありましたが、年齢を重ねるにつれ、また今の職場で「人や地域とのつながり」の大切さを学べたことが、地元の仲間を大事にしたい!という気持ちにさせてくれたような気がします。

このような縁を大切に、これからも継続的に集まり、旧交を温めていけたらと思います。



### 外反母趾・扁平足について ～正しい靴の選び方～

令和元年9月27日(金)  
11:00～12:00

リハビリテーション部 認定理学療法士  
西尾 正悟



### 運動と栄養のふか～い 関係について

令和元年10月25日(金)  
11:00～12:00

大塚製薬(株)



### 聞こえの話

令和元年11月22日(金)  
11:00～12:00

リハビリテーション部 言語聴覚士  
山中 孝訓



### もの忘れについて

令和元年12月13日(金)  
11:00～12:00

リハビリテーション部 作業療法士  
熊谷 奈未



## たのたの温泉だより

今回の楽楽けんこう隊は以下の日程にて、開催いたしました。多数の方々にご参加いただき、心より御礼申し上げます。引き続き、ご愛顧下さいますようお願いいたします。職員一同お待ちしております。

## 田野町クリーンウォーク & スポーツ交流会 2019

10月20日の日曜日、田野病院の法人イベント「田野町クリーンウォーク&スポーツ交流会2019」を、田野病院職員有志とその家族計50名の参加で行いました。

この取り組みは、法人理念の「地域に貢献する」活動の一環として、田野町の清掃活動と職員スポーツ交流を、毎年継続的に実施しております。

イベント当日は、暑いぐらいの晴天に恵まれた中、大人も子供もゴミ拾いとスポーツに汗を流しました。



高知新聞(10/27付)にも掲載されました!



### 【第1部】 田野町 クリーンウォーク



### 【第2部】 スポーツ交流会





今年もやっぱり盛り上がりました！

# 令和元年度 医療法人白井会 大忘年会

～今宵は**ONE TEAM**で楽しもう！～

挨拶 & 乾杯



部署MVP

祝

総合順位

- 第1位 リハビリ部
- 第2位 医事課
- 第3位 医療相談室



歓談



大抽選会



祭屋よさこい演舞



余興



## 黒豆と抹茶のカップケーキ

栄養部 管理栄養士 小松 華子

(カップケーキ1個分 エネルギー 124kcal タンパク質 36g 塩分 0.3g)

### 【材料】(10個分)

- 卵 1個 ●砂糖 20g ●牛乳 150g
- サラダ油 15g ●黒豆の甘煮 80g
- ☆〔・ホットケーキミックス 180g ・抹茶 5g〕

### 【作り方】

#### \*下準備

☆の材料を合わせておく。オーブンを180℃予熱で温めておく。

- ① ボウルに卵と砂糖を入れて、泡だて器で混ぜ合わせたらサラダ油、牛乳の順の各々加えて混ぜ合わせる。
- ② ☆を①のボウルに加え、粉っぽさが無くなるまで混ぜておく。
- ③ アルミのカップに黒豆を3粒ほど入れておき、残りはケーキの上用に残しておく。
- ④ アルミカップに②の生地を8分目位まで流し入れオーブンで上段にいれ5分ほど焼く。
- ⑤ オーブンで5分ほど焼いたら、一度取り出しカップケーキの上に残りの黒豆を3粒ほど少し押し込むようにして乗せていき、再びオーブンで10分焼く。



黒豆は大豆の品種の一つであるため、「畑の肉」と呼ばれるほど、良質なたんぱく質があり、黒い色素にはアントシアニンという、強い抗酸化作用を持つポリフェノールも含まれています。おせちで、余った黒豆でためてみてください。

## たのしい保育園 ハロウィン交流会&クリスマス会 2019

今年もたのしい保育園のこども達による、ハロウィン交流会とクリスマス会が行われ、元気いっぱい季節のイベントを楽しみました♪



### 編集後記

令和最初のお正月、皆さんはどのように過ごされたでしょうか。  
さて、レシピで紹介した黒豆のカップケーキの黒豆。なぜおせちで黒豆なのかというと、昔から黒豆の黒い色が邪気を払う魔よけの色・健康を意味する色だった事や丸い形が、恵の源である太陽を意味するという考え方もあり1年中、元気でママに働けますように」という願いからだそうです。  
今年も、元気でママに働ける良い年になると良いですね。

栄養部 管理栄養士 小松 華子

### 新人紹介

①所属・職種 ②出身地 ③趣味・特技 ④どのようなことで頑張っていますか？